

鳩を抱く少女

フラゴナールの画に寄す

楕円の額の中に、地味な色合いで描かれてあった
私はただただ立って見続けていた

胸に鳩を抱き寄せるといじらしい手
笑おうとしかけているつつましい唇
小さな不安に視線を引く瞳
そしてこの眉毛の表情の微妙

ただただ立ち尽くしていた
忘我の境に立っていた
動き出すことはできなかった・・・

その時、突然びくりと背に来た
耳をつんざく叫びが私の背骨を叩いた
ぎゃあっ、と・・・
全ての人々は振り向いた

若い男が倒れていた
顎が大きく外れ、蛇のように口が裂け
よだれと血の混合液がだらだらと流れ出して
飛び出た目は、私の愛する画を見ている

振り返ると、おお血が凍る！
恐怖の画だった
妖女だった

(1982.5.1)